幻の土器

蒲池焼

市は、技能功労者に窯業の伊東征隆さん（70歳・西蒲池）を表彰しました。伊東さんは、柳川藩の御用窯として代々受け継がれてきた蒲池焼を復活させました。今月は「幻の土器」とも言われる蒲池焼を紹介します。

天下一宗四郎写奈良風炉（伊東征隆作）

江戸時代末期ごろの蒲池焼「手焙」。「九州土器之司」の印刻銘がある（立花家史料館蔵）

江戸時代後期に作られたと思われる手あぶり火鉢（伊東征隆蔵）

家長彦三郎方親の墓から出土し蒲池焼初期の作品と言われている火鉢。「九州土器之司」の印刻銘がある（天叟寺蔵）

田中吉政が「筑後国土器司役」を申し付けた判物（柳川古文書館蔵）

秀吉も認めた蒲池焼

蒲池焼は、慶長9（1604）年、肥前佐賀の領主、鍋島忠茂公に仕えていた家長彦三郎方親が、三潴郡蒲池村（現在の西蒲池）で土器を焼いたことから始まります。

天正20（1592）年、肥前名護屋城（現在の唐津市）を訪れていた豊臣秀吉公が、方親の作った土器に目をとめました。秀吉は方親を肥前名護屋城に招き、「土器の手際、比類なし。九州の名護屋に於いての司たるべく候なり」という朱印状を与え、その作り方を褒めたと言われています。

慶長9年、筑後国主、田中吉政公は鍋島直茂公に頼み方親を招きます。方親は「筑後国土器司役」の命を受け、蒲池村に窯を築き、幕府献上の土器や御城用の土器を焼いていました。

元和7（1621）年、立花宗茂公が柳川藩主になると、宗茂も吉政同様、方親に「領内土器司役」を与え、毎年3月と9月に土器を朝廷や幕府に献上していました。

当時は御用止窯として一般への販売は禁止され、珍重された蒲池焼。しかし、明治維新後に窯が途絶えてしまいました。そのため、蒲池焼は「幻の土器」と言われるようになりました。

蒲池焼復活に試行錯誤

昭和62（1987）年、蒲池焼と兄弟窯である佐賀県の尾崎焼の技術を学んだ伊東征隆さんが、蒲池窯跡の近くに新しい窯を開き、蒲池焼復活の取り組みを始めます。

蒲池焼はうわぐすりを使わない土器。900度の低温で焼くことで、煙を材料の中に浸み込ませ、独特の色や艶、模様を出します。しかし、土器であるため割れやすく、現存するものは数えるほど。さらにその技術は口伝えであったため、ほとんど史料が残っておらず、試行錯誤の連続でした。

それでも数年のうちに、全体を煙でいぶして作る「黒焼」や、煙の当て方で白い器に雲のような黒い模様を作る「繧華焼」を復活させた伊東さん。しかし、黒い器に白い雲のような模様を入れる「繧繝焼」はできませんでした。

柳川に窯を開いて4年目。伊東さんは、夢の中で見知らぬ老人が模様の出し方を教えてくれたといいます。目覚めて早速焼いてみると、今までできなかった「繧繝」の模様を再現することに成功。「家長彦三郎が私にだけこっそり教えてくれたのでしょう」と伊東さんは笑顔で話します。

❶風炉を制作する伊東征隆さん。椿の葉などを使い表面を整える❷「空窯」と呼ばれる窯。松の木を使い約12時間かけて焼き、その後1週間かけていぶす。窯の上に瓦を敷き詰め、煙の出方を見ながら焼き方を調整していく❸黒地に白い雲のような模様が入った「繧繝雲型」（伊東征隆作）❹❺さまざまな表情を見せる表面。④は潟のような「縮緬」模様。⑤は雲のような「繧華」模様

蒲池焼は柳川から世界へ

平成2年、千利休没後400年の記念行事として、京都で全国茶道具展が開催されます。これまで展覧会に作品を出品したことのなかった伊東さんは、「繧繝焼」の風炉を出品し入選。これが当時裏千家家元だった鵬雲斎の目にとまり、この年の金閣寺金箔張り替え時に開かれた献茶式で、伊東さんの風炉が使われることになりました。

一流の茶人が認めた伊東さんの風炉は、緻密で艶のある黒い肌合いをいつまでも保つ上、その雅な質感と自己主張しすぎない落ち着きのある佇まいから全国で使われるようになります。平成23年に英国大英博物館で開かれた裏千家国際茶道文化協会茶道紹介でも伊東さんの風炉が使われ、今や蒲池焼は世界に知られるようになりました。

水郷柳川の匠

市技能功労者に伊東さんを表彰

表彰を受けた伊東さん（左）

市の技能功労者表彰式が12月3日、市役所柳川庁舎で行われ、長年技術の鍛錬にに励み、市の産業振興に功績があったとして伊東征隆さんを表彰しました。

金子市長から表彰状と記念の盾を受け取った伊東さんは「今まで好きな仕事を続けてきただけなのに、こんな賞をいただくことができ、ありがたい。家族をはじめ周りの人たちの協力に感謝しています。これからも蒲池焼の伝統を後世に伝えながら広めていきたい」と話しました。

来年は東京の百貨店で作品展を開くことになっている伊東さん。昔の土器司が作った幻の風炉の復元や、一般家庭でも使える花瓶や茶碗など作品作りに意欲を燃やしています。

【問】市商工振興課商工係（☎77・8763）

蒲池窯
柳川市西蒲池 11-1
☎73-0527